

おせ+

プラス

平成25年2月1日
尾鷲神社扉開き

第3号
2013.3.1発行

ホッと
プラス

最新情報

看護部のご紹介をいたします!!

医療の質と看護の質の向上を目指して 看護を取り巻く動向

総看護師長 萩原香代子

当院の看護師実働数は152人、看護補助員数は46人です。10対1入院基本料をとっています。

日本の病院における看護と制度の歴史をみると、1950年に「完全看護」制度が創設され、1958年には看護要員配置基準を設定した「基準看護」制度となり、社会保険診療報酬において看護要員の配置数が評価されるようになりました。

1994年医療保険制度、老人保健福祉制度の改定においては、付添いに頼らない看護を提供するための「新看護体系及び看護補助体系」が設定されました。

その後、医療・看護を取り巻く環境は大きく変化し、看護要員の配置数だけでなく、医療の質、看護の

質が問われる時代になりました。そのためチーム医療の推進が不可欠です。

今回、看護師がチーム医療のキーパーソンとしての役割を果たしているチーム活動を3チーム紹介させていただきます。

1つ目は、感染対策チームです。リーダーは感染管理認定看護師の樋口香代看護師長。

2つ目は、医療安全管理チームです。リーダーは医療安全管理者の大和君代看護主任。

3つ目は、栄養サポートチームです。リーダーは栄

養管理認定看護師の川口恵副総看護師長です。



ほすびたる プラス

チーム特集

Hospital plus

ホッとプラスで総看護師長が紹介した、3つのチームのそれぞれのリーダーから活動内容などを詳しくご紹介します！

感染対策チーム

三重県看護大学で感染の教育専門課程を修了し、日本看護協会の感染管理認定看護師を取得した樋口です。当院の感染対策の取り組みについて、お話をさせていただきます。

「咳エチケット」という言葉をご存知でしょうか。咳やくしゃみが出る時はマスク、ハンカチ、手などで口を覆い、そのあと手を洗いましょう。というのが咳エチケットです。単なる礼儀ではなく重要な感染対策です。当院では、ボランティアさんの協力を得て、玄関入り口でご希望の方にマスクをお渡しさせていただいております。手で口を覆った後、手洗いができない場合は、擦り込み式手指消毒剤もご利用ください。



感染対策の基本は、病院でも、ご家庭でも手洗いです。調理前、食事前の流水と石鹸による手洗いが重要です。まな板などの調理器具も熱湯処理か、キッチンハイターなど塩素系消毒剤が効果的

です。日頃から十分な睡眠と栄養を摂り、疲れをためないように心掛けることも大切な感染予防です。具合が悪い時は無理せず早目の受診をお勧めします。適切な治療を受けることで感染拡大を防止することができます。

当院の感染対策チーム「ICT」は、毎週、感染症発生状況を話し合い、感染対策が実施できているか、院内を回って手洗いの仕方などを評価しています。



又、主任看護師を中心とした「リンクスタッフチーム」が、リハビリなど他職種の人たちとチームを組んで、現場の院内感染防止対策に取り組んでいます。

医療安全管理チーム

医療安全管理チームは、安全な医療の提供を目指し活動しており、医療安全管理委員会を毎月1回開催しています。委員会メンバーは、医師、看護師、薬剤師、放射線技師、検査技師など各職種から合計18名で構成され、1ヶ月間で報告されたインシデント・アクシデント報告書をもとに対策や改善点を検討しています。

また、委員長(事務長)、副委員長(萩原総看護師長)、委員(川口副総看護師長)、感染管理者(樋口看護師長)医療安全管理者(大和看護主任)の5名で月1回、医療安全パトロール隊の青色の腕章をつけて医療安全パトロールを行い、安全な医療が提供できる環境が保たれているか・決められたルールが守られているか・「患者さんの声」から医療安全上対策が取られているか、危険な場所がないか巡回して

います。安全な医療は、医療を提供する側と患者さんや家族の方、地域の方々の協力を得て成り立つものと考えます。今後も安全な医療の提供を目指し、皆さんの協力を得て活動していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

医療安全パトロール



栄養サポートチーム

「栄養管理は、すべての治療に共通する医療行為の基本である!」という理念のもと、2000年7月、尾鷲総合病院NST (Nutrition Support Team: 栄養サポートチーム)が稼動しました。2005年1月には、NHKスペシャル「食べて治す～患者を支える栄養サポートチーム～」で当院NSTが取り上げられたことから全国で注目され、今までに700人以上の見学や取材を受けてきました。チーム医療が推奨されている昨今、NSTは、職種の壁を超え



▲ NSTミーティング

たチーム医療の代表と言えます。NST活動は、栄養療法・栄養管理というすべての医療の基本となる医療行為を、医師、看護師(訪問看護を含む)、薬剤師、管理栄養士のほか、臨床検査技師やリハビリテーション部スタッ

フ、最近では歯科医師や歯科衛生士なども参加しております。

NSTの役割は、入院時から患者の栄養状態を評価し、個々の患者に最も適した栄養管理法を選択して、食べるための食事内容の検討や工夫、疾患に合わせた補助食品の提供、安全な経静脈栄養法や経腸栄養法を実践することです。

高齢化率が37%を超える東紀州地区では、最終栄養管理法が生活の場を決定する要因にもなります。病院から在宅・施設へと栄養管理法は継続されなければなりません。一人ひとりの患者に適した栄養管理法の継続のためにケア会議の開催など地域連携の強化と、栄養管理法の最終目標である経口摂取に向け日々努力しています。



外来担当医表

平成25年3月1日現在

診療科		月	火	水	木	金	備考
内科	1診(初診)	小藪 助成	庄司 国史	熊谷 直人	門口 紅	熊谷 直人	ペースメーカー 第1月曜 小藪
	2診(予約)	門口 紅	草川 聡子	庄司 国史		野尻 圭一郎	
循環器科			武内 哲史郎	小藪 助成	世古口 茂幸	大杉 和生	
CAPD			小藪 助成				
透析		大杉 和生	小藪 助成	大杉 和生	大杉 和生	小藪 助成	
カテーテル検査					熊谷・武内 宮原		
アイソトープ検査		熊谷 直人					
健康診断		庄司 国史			庄司 国史		
外科	1診	湯浅 浩行	加藤 弘幸	加藤 弘幸	加藤 弘幸	松井 俊樹	
	2診		松井 俊樹				
呼吸器外科				金田 正徳	金田 正徳		
胃カメラ		松井 俊樹	外科医	戸澤/川合 (隔週)	湯浅 浩行	加藤 弘幸	
透視(胃・大腸他)		外科医	外科医	戸澤/川合 (隔週)	外科医	野尻 圭一郎	
整形外科	初診	岡村 直樹	今西 隆夫	岡村 直樹	今西 隆夫	宮本 憲	
	予約	今西 隆夫	岡村 直樹	今西 隆夫	岡村 直樹	今西 隆夫	
小児科	午前	澤路 陽一	澤路 陽一	澤路 陽一	澤路 陽一	澤路 陽一	
	午後 (14時~16時受付)		慢性外来	ワクチン 外来		乳児健診	
産婦人科		野村 浩史	野村 浩史	野村 浩史	野村 浩史	野村 浩史	
耳鼻咽喉科				大津 和弥	今西 義宜		
眼科		和田 光正	和田 光正	和田 光正	第1週目のみ 三重大学医師	和田 光正	木曜日 (第2・3・4週休診)
皮膚科		前田 吉民	前田 吉民	前田 吉民	前田 吉民	前田 吉民	
泌尿器科		佐々木 豪	佐谷 博之	佐谷 博之	佐谷 博之	佐谷 博之	
放射線科(予約制)						野本(治療)	
精神科(小児のみ) (予約制)			大槻 (第2・4)				
神経内科(予約制)			三室 麻耶			伊井裕一郎	
脳神経外科		栃尾 廣			田中 公人		

※医師・出張等により休診・代診となる可能性がありますので、お問い合わせください。

みなさまの声を聞かせてください

本誌へのご感想やご意見、ご要望などございましたら、院内に設置されている患者さんの声に投稿いただくか、お気軽にご連絡ください。

お問い合わせ先：
尾鷲総合病院 事務長
taijo00@owasehp.jp
TEL 0597-22-3111



病院の理念

- 高度医療に対応できる東紀州地域の中核病院
- 地域の保健・医療・福祉との連携を促進し、地域の人々と共に創る病院
- 患者様に信頼され、いつでも安心してかかっていたいただける患者様主体の総合病院
- 教育、研修機能を持つ病院
- 質の高い医療技術とサービスを提供する病院
- 職員一人ひとりが、病院の将来ビジョン・経営について考える病院